シリーズ・我が校の平成史

東海大学菅生高校　あきる野市菅生

「東京に菅生あり」

0歳児から大学まで一貫教育　人間性豊かな人材育成

飛躍の平成30年！

あきる野市菅生に東海大学菅生高校（島田幸成理事長、峰岸英仁校長）が開校したのが1983（昭和58）年。昭和の終わりの6年間でしっかり基礎を固めた学校は平成の時代、西多摩唯一の私学として「東京に菅生あり」と全国にその名を轟かす発展を遂げた。卒業生は1万5000人を超す。東海大学はもとより有名私学、国公立大学への進学も増えている。多くの人材が社会の第一線で活躍する時代を迎え、昨年4月には待望の同窓会も誕生した。（岡村信良）

創立者の島田久初代理事長は、東海大学の創立者、松前重義博士と出会い、教育思想に大きな影響を受け、かねてから心に期していた「西多摩に私立高校を」との実現にまい進する。私財を投げ打って東京菅生高等学校を開校した。

明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性をもった人材を育てることにより、「調和のとれた文明社会を建設する」という東海大学の建学の精神、教育方針を教職員と共に愚直に実践。取り組みは大学側から高く評価され、1989（平成元）年、東海大学菅生高校に校名変更。東海大学との提携関係は一層強化され、同校の躍進が始まった。

高大連携を生かした教育の深化は、全国にキャンパスを展開する東海大学への門戸を大きく広げた。何度かのコースの変更を経て、現在生徒たちは、難関大学への現役合格を目指す特別進学コースと、芸術、スポーツ、福祉、医療、情報など多様な個性を見極めて進路を選択する総合進学コースで学んでいる。

「学校内の予備校とも言える自学館を整備し、授業と連動して学力を育てる新しい教育システムを確立。さらに「すららネット」を使った自学支援システムやタブレットを使った授業システムを取り入れ、学力アップを図っています」（島田理事長）

こうした環境の中で、生徒たちは学習と部活動、学校行事の中で「自立、自学、自生」を身につけ、人間力を高めている。

最近の進路状況は東海大学への進学が4人に1人余り。東海大学を希望する9割近くが合格している。東海大学以外が半数、そのほかが専門学校などとなっている。

島田理事長は「ここ数年は東海大学医学部への合格者が出ているほか、国公立大学、難関私大へ進む人も増えています」と目を細める。

■

クラブ活動は活発だ。全国大会に名を連ねる23の体育系クラブと12の文科系クラブで、文武両道、多彩な人材が育っている。

硬式野球部は1996年の夏の全国高校野球大会の初出場を皮切りに、これまで春の選抜、夏の大会にそれぞれ3度の出場を果たした。中でも「東京に菅生あり」を全国に知らしめたのが一昨年夏の甲子園大会。西東京大会で清宮幸太郎選手を擁した早稲田実業を倒して甲子園出場を果たすと、菅生は強打で勝ち進み、青森山田などの強豪校を撃破。見事ベスト4を勝ち取った。「学校史に輝く金字塔を打ち立ててくれました」（島田理事長）

甲子園同様に全国の注目を集めるのがサッカー。サッカー部は全国高校総合体育大会に3度、全国高校サッカー選手権大会に2度の出場を果たし、存在感を放っている。

全国大会には、常連のように出場するソフトテニス部、テニス部のほか、男子バスケット部、男子バレーボール部、卓球部、ラグビー部、男子ハンドボール部、柔道部、剣道部、スキー部、ゴルフ部も出場を果たしている。

文科系では吹奏楽部の活躍が華々しい。これまで全日本吹奏楽コンクールに6度、全日本アンサンブルコンテストに13度出場。東京を代表する学校になっている。全国大会に出場するたび、東海大学菅生の知名度は高まり、あきる野市をはじめ西多摩地域の誇りとなってきた。

卒業生は86年に367人が巣立って以来、1万5000人余を数える。年を追うごとに同窓のネットワークは拡充し、会社や地域社会で活躍する卒業生も目立っている。昨年4月には待望の同窓会「菅生川蝉会」（渡辺弘行会長）が発会。発会式で島田理事長は「前理事長の島田久は『同窓会があれば良い』と常々言っていた。菅生卒業生のネットワークは多摩一円にある。同窓会発会を機に卒業生の活躍の場が一層広がれば頼もしい」と期待を寄せた。

学校を運営する菅生学園も規模を拡大させた。95年に中等部を、2007年に初等学校を開校。学園の原点であり、来年創立50周年を迎える多摩学院幼稚園を含め、0歳児から大学までの一貫教育を実現した。

社会で活躍、注目を浴びる人材を着実に輩出。2018年のプロ野球ドラフト会議では高橋優貴投手が読売ジャイアンツに1位で指名され、大きな喜びとなった。

島田理事長は「全国どこでも東海大菅生と言えば分かってもらえる名門校にしていきたい」と話している。

文武両道　甲子園でベスト4

2017年の夏の全国高校野球選手権大会ではベスト4を勝ち取った

吹奏楽部は全日本吹奏楽コンクールに6度出場。2018年のコンクールでは金賞を射止めた

島田理事長（左）と読売ジャイアンツドラフト1位の高橋投手

中等部の授業風景

菅生の自然の中で伸び伸び育つ児童たち

園児たちの様々な可能性の芽を育てる

主なあゆみ

- □ 昭和58年　3年の準備を経て開校
- □ 平成元年　東海大学菅生高等学校に校名を変更
- □ 平成2年　豪州シドニーでパーカーカレッジ校と交換留学協定を調印
- □ 平成7年　東海大学菅生高校付属中学校を開校（平成20年に中等部に変更）
- □ 平成16年　総合進学コースと特別進学コースを設置
- □ 平成18年　学びの城竣工
- □ 平成19年　菅生学園初等学校が開校
- □ 平成30年　同窓会「菅生川蝉会」が発会